



認知症になっても安心して暮らせるまちに

枕崎おれんじ新聞

令和6年12月号
【発行所】
枕崎市地域包括
支援センター

おれんじボランティアが18名に増えました

11月29日と12月5日に認知症サポーターステップアップ講座を開催しました。2日間の講座を修了された方のうち、6名がおれんじボランティアに登録くださり、枕崎市のおれんじボランティアは18名となりました。おれんじボランティアでは施設での見守り活動や、認知症の普及啓発活動を行っています。

認知症の日（9月21日）に普及啓発活動を実施しました

おれんじボランティア、キャラバン・メイトのほか、そのご家族や賛同いただいた関係機関職員の方にもご参加いただき、市内の商業施設で啓発チラシの配布を行いました。当日は雨も降る天候でしたが、多くの方に足を止めていただきました。令和7年も実施していきます。



金融機関の方にも認知症サポーター養成講座を受講いただきました

12月11日に金融機関の方向けに養成講座を開催し、成年後見制度（※）についても理解を深めていただきました。

このほか令和6年には枕崎警察署、てげてげ広場、地区公民館の成人講座、企業・職域団体向けに養成講座を行いました。認知症サポーターが増えることで、認知症の方が住み慣れた地域でできる限り生活が送れるようなまちづくりを推進しています。

※成年後見制度 認知症などによって、ひとりで決めることに不安や心配のある方が、いろいろな契約や手続きをするときにお手伝いする制度